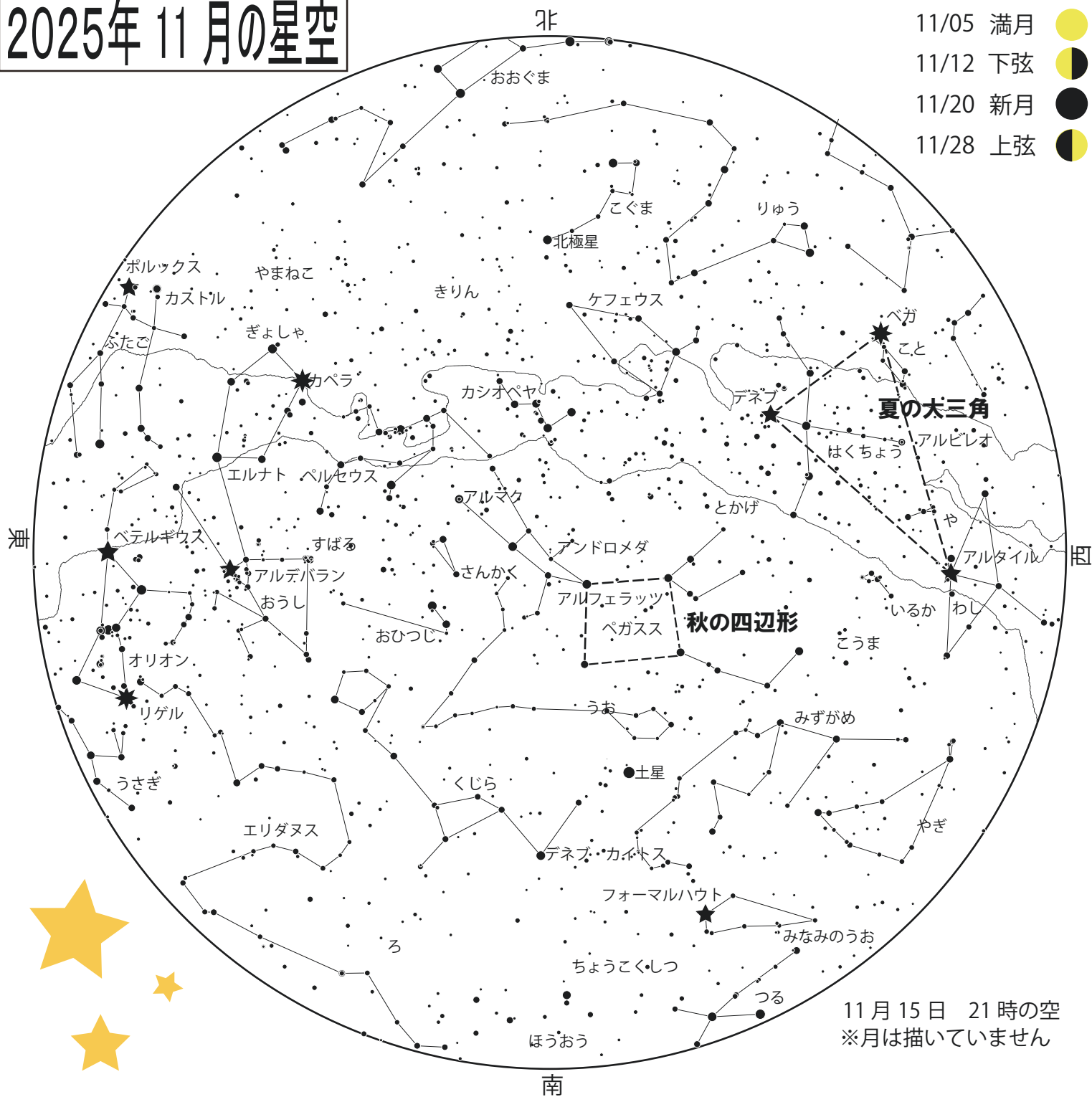


姫路で見る 2025年11月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 11/05 満月 
- 11/12 下弦 
- 11/20 新月 
- 11/28 上弦 



11月15日 21時の空
※月は描いていません

11月になると日の入りがますます早くなって、夜が長くなったことを実感するようになりました。朝夕は風が冷たく、肌寒い日が増えてきました。

南の空には、「**秋の四辺形**」が空高く昇っています。**ペガサス座**がその中心で、**アンドロメダ座**、**カシオペア座**、**ケフェウス座**、**ペルセウス座**、**くじら座**など、ギリシャ神話のエチオピア王家の物語に登場する星座が取り囲んでいます。これらの星座には明るい星がないので、なんとなく寂しい雰囲気です。秋の星座で唯一の一等星である**みなみのうお座**の**フォーマルハウト**と、**うお座**を移動中の0.8等級の**土星**の輝きが、秋の空に活気を与えています。11月24日には、地球から**土星**の環をほぼ真横から眺めることになるため、環はほとんど見えなくなります。

東の空には、**おうし座**の**アルデバラン**、**オリオン座**の**ベテルギウス**と**リゲル**、**ぎょしゃ座**の**カペラ**など、冬の一等星たちが顔を見せています。これからは更に3つの一等星が加わって、東の空は明るく彩り豊かな星たちで賑やかになりそうです。風邪をひかないように、暖かくして星空をお楽しみください。